

**製品名: FOXP1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86721**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:75 kDa; Observed MW:82-90 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FOXP1
別名	MFH; QRF1; 12CC4; hFKH1B; HSPC215
遺伝子 ID	27086
SwissProt ID	Q9H334
免疫原	ヒト FOXP1 の合成ペプチド

**背景**

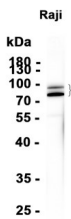
この遺伝子は、フォークヘッドボックス（FOX）転写因子ファミリーのサブファミリー P に属します。フォークヘッドボックス転写

因子は、発達期および成人期の両方において、組織および細胞型特異的な遺伝子転写の制御において重要な役割を果たします。フォークヘッドボックス P1 タンパク質は、DNA 結合ドメインとタンパク質間結合ドメインの両方を有しています。この遺伝子は、いくつかの腫瘍型で欠損しており、腫瘍抑制遺伝子の存在が報告されている染色体領域 (3p14.1) にマッピングされていることから、腫瘍抑制因子として機能する可能性があります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



FOXP1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Raji 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。